

【NEWS RELEASE】

2026 年 9 月 25 日

株式会社三井住友銀行
SMBC日興証券株式会社Climate Bonds Initiative との適応・レジリエンス分野における覚書締結および
「SMBC サステナブルファイナンスフレームワーク」に関する整合性意見書の取得について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕、以下、「三井住友銀行」）および SMBC 日興証券株式会社（取締役社長 CEO：吉岡 秀二、以下、「SMBC 日興証券」）は、Climate Bonds Initiative（最高経営責任者（CEO）兼共同創設者：Sean Kidney、以下、「クライメート・ボンド」）と、今般、気候変動への適応およびレジリエンスに資するファイナンス市場の健全かつ信頼性の高い持続的な発展に向けた協力に関する覚書（以下、「本覚書」）を締結しました。また、三井住友銀行は、2026 年 3 月に公表した「SMBC サステナブルファイナンスフレームワーク」（以下、「本フレームワーク」）の一部の資金使途について、国際的な気候変動の緩和ならびに適応・レジリエンス基準である Climate Bonds Sector Criteria および Climate Bonds Resilience Taxonomy との整合性に関する意見書（Alignment Opinion）（以下、「本オピニオン」）をクライメート・ボンドから取得しましたので、お知らせいたします。

1. 背景

気候変動に伴う豪雨、洪水、干ばつ、猛暑、海面上昇等の物理的リスクが顕在化する中、温室効果ガス排出量の削減に向けた「緩和」に加え、気候変動の影響を軽減する「適応」を推進し、社会・経済システムの持続可能性と「レジリエンス」を高めることの重要性が一層高まっています。

一方、気候変動への適応・レジリエンスに資する事業や投資については、その対象範囲や評価方法が幅広く、資金使途の適格性、気候変動への貢献、インパクトの測定・報告等に関する、信頼性と透明性の高い共通基盤の整備が求められています。

クライメート・ボンドは、気候変動対策に資する投資の促進を目的とする国際的な非営利団体であり、Climate Bonds Standard、Climate Bonds Resilience Taxonomy 等の策定・運営を通じ、グローバルなサステナブルファイナンス市場の発展に取り組んでいます。

三井住友銀行は、2026 年 3 月に、国内の法人のお客さまによるサステナブルファイナンスの利用を支援するため、本フレームワークを公表しました。本フレームワークは、グリーンローン等を対象とし、気候変動への適応を含む幅広い資金使途に対応しています。

また、SMBC 日興証券は、国内外の資本市場における知見やネットワークを活用し、サステナブルファイナンスの組成支援および市場の発展に取り組んでいます。

こうした背景を踏まえ、三者は、気候変動への適応・レジリエンスに資するファイナンスの信頼性向上と市場拡大に向け、本覚書を締結しました。

2. 本覚書における協力事項

三井住友銀行、SMB C日興証券は、本覚書に基づき、主に以下の事項についてクライメート・ボンドと協力します。

(1) 市場の発展に向けた協力

日本および海外において、気候変動への適応・レジリエンスに資する事業への資金供給を促進し、関連する金融市場の健全かつ信頼性の高い持続的な発展を支援するため、意見交換を行うとともに、具体的な取組の可能性を検討します。

(2) 知見および専門性の共有

気候変動への適応・レジリエンスに関する国内外の原則、基準、タクソノミー、認証制度、評価手法、インパクトの測定方法およびレポーティング実務等について、情報、知見および専門性を共有し、意見交換を行います。

三者は、それぞれが有する専門性、金融機能および国内外のネットワークを活用し、金融機関、企業、投資家その他の市場関係者との対話や情報発信を通じて、気候変動への適応・レジリエンスに資するファイナンス市場の発展を後押ししてまいります。

3. 本オピニオン取得の概要

三井住友銀行は、本フレームワークに定める適格な資金使途のうち、別紙「適格プロジェクト」に記載する気候変動への適応・レジリエンスに関連する一部の資金使途について、整合性に関する意見書（Alignment Opinion）をクライメート・ボンドから取得しました。

金融機関が自ら策定したサステナブルファイナンスフレームワークに対して、クライメート・ボンドが適応・レジリエンス基準への整合性を確認した事例は本邦初となります。

これにより、本フレームワークにおける気候変動への適応・レジリエンスに関連する適格な資金使途について国際的な基準との整合性を確認し、その信頼性および透明性の一層の向上を図ってまいります。

4. 今後の展望

三井住友銀行およびSMB C日興証券は、本覚書に基づくクライメート・ボンドとの協力を通じて、気候変動への適応・レジリエンスに資するファイナンスの信頼性と透明性の向上を図るとともに、市場参加者の理解促進ならびに投融資機会の拡大に取り組んでまいります。

また、三井住友銀行およびSMB C日興証券は、クライメート・ボンドが有する国際的な知見や基準策定に関する専門性と、SMBCグループが有する金融ソリューション、顧客基盤および国内外のネットワークを組み合わせることで、お客さまの気候変動への適応・レジリエンスに関する取組を支援し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

以 上

【別紙】

(適格プロジェクト)

気候変動による異常気象等の被害を最小化するための施策

河川改修事業

土砂災害防止施設の整備

海岸保全施設等の整備

施設及び設備の浸水対策

非常用電源の設置

ヒートポンプや高効率空調等の冷却システムの導入

レジリエンス向上に資する交通インフラの建設・更新

気候変動に対応する作物品種の技術開発や導入

気候観測や監視、早期警戒システムに関する事業や気候変動への適応に資する

ICT ソリューションを提供する事業